

■暮らしを守る私たちの足■

より便利な公共交通を目指して!

夏の特別イベントを実施します!



便利なバスにするための  
取組みについて

市では、便利で利用しやすい公共交通を実現するため、平成23年3月よりバスの実証運行を行っており、平成25年度からの本運行に向けて、利便性や効率性を高めるよう適切な見直しを行うこととしています。

今年の4月と5月には、中間年次の見直しとして、久美愛厚生病院の移転や、市民のみなさんからのご意見や利用実績などを踏まえ、路線・ダイヤの改正を行いました。

見直し後の運行に対する状況を検証するため、7月にバス車内での聞き取りアンケート調査、7〜8月にかけて意見募集(次ページに掲載)を実施し、その後、各地域での市民意見交換会を開催するなどして、市民のみなさんからさまざまなご意見を伺うこととしています。併せて利用状況の調査・分析により総合的に評価検証を行い、より効果的で効率的な運行に向けて検討をすすめます。

バスの利用状況について

【平成23年度利用実績(表①)】

平成23年度1年間の利用実績としては、市全体で約18万人の利用があり、1便あたりの平均利用者数は約3.1人でした。うち高山地域は5.9人、全支所地域の平均は1.3人となっています。

【昨年との比較(表②)】

今年度の見直し後の5月の状況と昨年度の同じ月との比較としては、新たな公共交通体系が浸透したこと、見直しにより利用の少ない便の休止や予約方式に変更したことなどにより、1便あたりの平均利用者数は、市全体で、2.8人から3.7人に増加しています。

主だったところでは、まちなみバスは2.6人から4.2人に、高山地域ののらマイカーは6.6人から8.1人に増加しています。その要因は、まちなみバスは市民、観光客に浸透してきたこと、高山地域ののらマイカーは、久美愛厚生病院の移転により、病院周辺の住民が新たにバスを利用していることなどが考えられます。

支所地域では、運行時間・経路を変更したほか、利用の少ない便の休止や予約方式に変更したことにより、便数が減った路線もありますが、1便あたりの平均利用者数は前年並みとなっています。

問合せ  
地域政策課  
☎35-3524

まちなみバス・のらマイカーの利用状況(単位:人)

表② バス運行改正後(H24.5)と改正前(H23.5)との比較

区分		改正前 (H23.5)		改正後 (H24.5)		対前年同月比増減	
		月間利用者	1便あたり平均利用者	月間利用者	1便あたり平均利用者	月間利用者	1便あたり平均利用者
高山地域	まちなみバス	1,905	2.6	2,531	4.2	33%増	1.6人増
	のらマイカー	7,335	6.6	7,863	8.1	7%増	1.5人増
支所地域(のらマイカー)	丹生川地域	624	2.3	660	2.6	6%増	0.3人増
	清見地域	1,081	2.4	1,093	2.6	1%増	0.2人増
	荘川地域	368	1.8	371	1.9	1%増	0.1人増
	一之宮地域	98	0.6	89	0.7	9%減	0.1人増
	久々野地域	612	1.0	602	1.4	2%減	0.4人増
	朝日地域	111	0.4	100	0.7	10%減	0.3人増
	高根地域	382	1.4	386	1.3	1%増	0.1人減
	国府地域	320	1.1	269	1.1	16%減	増減なし
	上宝地域	152	0.5	125	1.0	18%減	0.5人増
	合計	12,988	2.8	14,089	3.7	8%増	0.9人増

表① 平成23年度利用実績

区分		平成23年度	
		年間利用者	1便あたり平均利用者
高山地域	まちなみバス	33,855	3.9
	のらマイカー	99,258	7.3
支所地域(のらマイカー)	丹生川地域	7,059	2.1
	清見地域	13,411	2.5
	荘川地域	4,462	1.8
	一之宮地域	1,467	0.8
	久々野地域	7,377	1.0
	朝日地域	1,349	0.3
	高根地域	4,847	1.4
	国府地域	4,440	1.2
上宝地域	2,357	0.7	
合計	179,882	3.1	